



平成31年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成31年2月12日

上場会社名 株式会社 ジーエス・ユアサ コーポレーション

上場取引所 東

コード番号 6674 URL <http://www.gs-yuasa.com/jp>

代表者 (役職名) 取締役社長 CEO (氏名) 村尾 修

問合せ先責任者 (役職名) コーポレート室 部長 (氏名) 松島 弘明

TEL 075-312-1211

四半期報告書提出予定日 平成31年2月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第3四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	305,646	2.9	14,315	4.3	15,800	11.2	10,090	62.3
30年3月期第3四半期	296,984	16.8	13,721	6.5	14,210	3.0	6,218	27.5

(注) 包括利益 31年3月期第3四半期 7,021百万円 (52.3%) 30年3月期第3四半期 14,720百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第3四半期	122.79	114.45
30年3月期第3四半期	75.35	70.19

平成30年10月1日付で5株を1株に株式併合しております。「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」につきましては、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して算出してあります。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第3四半期	395,000	201,809	44.0
30年3月期	389,216	205,638	45.2

(参考) 自己資本 31年3月期第3四半期 173,828百万円 30年3月期 175,775百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		3.00		7.00	10.00
31年3月期		3.00			
31年3月期(予想)				35.00	

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成30年10月1日付で5株を1株に株式併合しております。31年3月期(予想)につきましては、当該株式併合を反映した1株当たり期末配当金を記載し、年間配当金の合計は「-」として記載しております。

3. 平成31年 3月期の連結業績予想(平成30年 4月 1日～平成31年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	420,000	2.2	23,000	4.9	24,000	12.2	14,000	22.3	169.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

平成30年11月8日に公表しました連結業績予想から通期連結業績予想値を修正します。

なお、詳細は、四半期決算短信[添付資料]3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

また、平成30年10月1日付で5株を1株に株式併合しております。1株当たり当期純利益につきましては、株式併合の影響を考慮しております。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期3Q	82,714,942 株	30年3月期	82,714,942 株
期末自己株式数	31年3月期3Q	879,917 株	30年3月期	517,357 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期3Q	82,178,248 株	30年3月期3Q	82,527,198 株

平成30年10月1日付で5株を1株に株式併合しております。「期末発行済株式数(自己株式を含む)」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数(四半期累計)」につきましては、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して算出してあります。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は今後さまざまな要因によって予想数値と異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8
(追加情報)	9
3. 補足情報	11
(四半期損益の推移)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

①業績全般の動向

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益および雇用環境の改善を背景に、個人消費の持ち直しが見られる等、景気は緩やかに回復しました。

世界経済に目を転じますと、中国においては、米国との貿易摩擦を背景に景気は減速傾向にあります。一方、米国は雇用および所得環境が良好であり個人消費の拡大が持続しました。欧州においても雇用環境の改善を背景に個人消費は底堅く推移しました。しかしながら、米中貿易摩擦のさらなる激化や長期化による景気下押しリスクが懸念されるなど、世界経済の先行きは不透明な状況にあります。

このような経済状況の中、当社グループでは、主として自動車電池事業において鉛価格の上昇分の売価転嫁が進んだことや国内の補修用需要が堅調に推移したことに加え、車載用リチウムイオン電池の販売が増加したことなどにより、当第3四半期連結累計期間の売上高は、3,056億46百万円と前第3四半期連結累計期間に比べて86億61百万円増加(2.9%)し、営業利益は143億15百万円(のれん等償却前営業利益は161億62百万円)と前第3四半期連結累計期間に比べて5億94百万円増加(4.3%)しました。上記の営業利益の増加に加え、持分法投資利益の改善により経常利益は、158億円と前第3四半期連結累計期間に比べて15億89百万円増加(11.2%)しました。これに加え親会社株主に帰属する四半期純利益は、特別利益に固定資産売却益を計上したことにより、100億90百万円(のれん等償却前親会社株主に帰属する四半期純利益は119億70百万円)と前第3四半期連結累計期間に比べて38億72百万円増加(62.3%)しました。

②報告セグメント別の動向

第1四半期連結会計期間より、報告セグメントを変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

(自動車電池)

国内における売上高は、主として補修用需要が堅調に推移したことにより、676億71百万円と前第3四半期連結累計期間に比べて20億16百万円増加(3.1%)しました。セグメント損益(のれん等償却前)は、上記の販売増加の影響に加え、鉛価格の上昇分の売価転嫁が進んだことなどにより、56億41百万円と前第3四半期連結累計期間に比べて10億68百万円増加(23.4%)しました。

海外における売上高は、主として中国や東南アジアでの販売が減少したものの、鉛価格の上昇分の売価転嫁が進んだことにより、1,418億7百万円と前第3四半期連結累計期間に比べて47億1百万円増加(3.4%)しました。これらに伴いセグメント損益は、81億15百万円と前第3四半期連結累計期間に比べて19億98百万円増加(32.7%)しました。

これにより、国内・海外合算における売上高は、2,094億78百万円と前第3四半期連結累計期間に比べて67億17百万円増加(3.3%)しました。セグメント損益(のれん等償却前)は、137億57百万円と前第3四半期連結累計期間に比べて30億66百万円増加(28.7%)しました。

(産業電池電源)

売上高は、フォークリフト用電池の販売が好調に推移したものの、電源装置の販売減少や一部事業譲渡の影響などにより472億82百万円と前第3四半期連結累計期間に比べて33億51百万円減少(△6.6%)しました。セグメント損益は、上記の販売減少の影響などにより、26億62百万円と前第3四半期連結累計期間に比べて6億99百万円減少(△20.8%)しました。

(車載用リチウムイオン電池)

売上高は、ハイブリッド車用リチウムイオン電池の販売が減少したものの、プラグインハイブリッド車用リチウムイオン電池の販売が増加したことにより、336億61百万円と前第3四半期連結累計期間に比べて22億92百万円増加(7.3%)しました。一方、セグメント損益は、原材料価格の上昇の影響に加えて開発費用の負担増加などにより、3億75百万円の損失と前第3四半期連結累計期間に比べて11億19百万円減少しました。

(その他)

売上高は、潜水艦搭載リチウムイオン電池の生産増加により、152億23百万円と前第3四半期連結累計期間に比べて30億2百万円増加(24.6%)しました。全社費用等調整後のセグメント損益は、研究開発費用の増加などにより1億18百万円と前第3四半期連結累計期間に比べて4億23百万円減少(△78.1%)しました。

(2) 財政状態に関する説明

総資産は、株価下落に伴う保有株式時価評価額の減少や、固定資産の減価償却による減少があったものの、社債の発行に伴う現金及び預金の増加により3,950億円と前連結会計年度末に比べて57億84百万円増加しました。

負債は、社債の発行や借入金の増加により、1,931億91百万円と前連結会計年度末に比べて96億13百万円増加しました。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益による増加がありましたが、保有株式時価評価額の減少や配当金の支払、為替レートの変動による為替換算調整勘定の減少により、2,018億9百万円と前連結会計年度末に比べて38億29百万円減少しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、海外における予想販売数量の減少や主要原材料価格の下落傾向に伴う想定販売価格低下に伴い売上高が減収となり、平成30年11月8日に公表いたしました業績予想を、次のとおり修正します。

なお、利益につきましては、主要原材料価格の下落に伴う調達コスト減少を踏まえ、前回公表値を据え置いております。

通期連結業績予想

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想	440,000	23,000	24,000	14,000	169.84
今回発表予想	420,000	23,000	24,000	14,000	169.84
増減額	△20,000	—	—	—	—
増減率(%)	△4.5	—	—	—	—
前期実績	410,951	21,920	21,387	11,449	138.90

(注) 平成30年10月1日付で5株を1株に株式併合しております。平成31年3月期の連結業績予想における通期の「1株当たり当期純利益」につきましては、株式併合の影響を考慮しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 平成30年3月31日	当第3四半期連結会計期間 平成30年12月31日
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,927	34,439
受取手形及び売掛金	79,919	74,419
商品及び製品	37,835	39,197
仕掛品	16,621	17,762
原材料及び貯蔵品	15,286	14,910
その他	11,304	9,859
貸倒引当金	△498	△367
流動資産合計	179,395	190,221
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	50,449	52,998
機械装置及び運搬具（純額）	35,014	34,482
土地	24,047	22,413
リース資産（純額）	777	663
建設仮勘定	7,889	7,722
その他（純額）	4,669	4,430
有形固定資産合計	122,846	122,711
無形固定資産		
のれん	4,349	3,685
リース資産	843	1,148
その他	7,033	6,163
無形固定資産合計	12,226	10,996
投資その他の資産		
投資有価証券	56,685	52,736
退職給付に係る資産	12,096	12,501
繰延税金資産	2,442	2,500
その他	3,895	3,673
貸倒引当金	△438	△431
投資その他の資産合計	74,683	70,980
固定資産合計	209,756	204,688
繰延資産	63	90
資産合計	389,216	395,000

(単位：百万円)

	前連結会計年度 平成30年3月31日	当第3四半期連結会計期間 平成30年12月31日
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	36,504	36,992
電子記録債務	15,144	16,093
短期借入金	17,464	9,584
1年内償還予定の新株予約権付社債	25,000	25,000
未払金	8,804	8,589
未払法人税等	3,005	2,604
設備関係支払手形	140	414
その他	18,593	15,981
流動負債合計	124,657	115,260
固定負債		
社債	10,000	20,000
長期借入金	22,689	34,734
リース債務	1,223	1,336
繰延税金負債	10,561	9,657
再評価に係る繰延税金負債	1,042	928
退職給付に係る負債	6,351	4,220
その他	7,052	7,053
固定負債合計	58,920	77,930
負債合計	183,577	193,191
純資産の部		
株主資本		
資本金	33,021	33,021
資本剰余金	55,313	55,313
利益剰余金	66,822	74,225
自己株式	△1,387	△2,314
株主資本合計	153,770	160,245
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,713	12,225
繰延ヘッジ損益	△1	△34
土地再評価差額金	2,397	2,137
為替換算調整勘定	5,278	△188
退職給付に係る調整累計額	△383	△556
その他の包括利益累計額合計	22,005	13,583
非支配株主持分	29,863	27,980
純資産合計	205,638	201,809
負債純資産合計	389,216	395,000

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 自 平成29年 4月 1日 至 平成29年12月31日	当第3四半期連結累計期間 自 平成30年 4月 1日 至 平成30年12月31日
売上高	296,984	305,646
売上原価	230,462	237,240
売上総利益	66,522	68,405
販売費及び一般管理費	52,801	54,090
営業利益	13,721	14,315
営業外収益		
受取利息及び配当金	657	592
持分法による投資利益	125	2,109
為替差益	358	—
その他	480	547
営業外収益合計	1,621	3,249
営業外費用		
支払利息	620	470
為替差損	—	630
その他	511	663
営業外費用合計	1,131	1,763
経常利益	14,210	15,800
特別利益		
固定資産売却益	161	3,084
投資有価証券売却益	—	46
その他	10	19
特別利益合計	171	3,149
特別損失		
固定資産除却損	129	354
固定資産売却損	29	249
関係会社整理損	650	—
その他	63	262
特別損失合計	872	866
税金等調整前四半期純利益	13,510	18,084
法人税等	4,740	5,604
四半期純利益	8,770	12,480
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,552	2,389
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,218	10,090

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 自 平成29年 4月 1日 至 平成29年12月31日	当第3四半期連結累計期間 自 平成30年 4月 1日 至 平成30年12月31日
四半期純利益	8,770	12,480
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,607	△2,462
繰延ヘッジ損益	1	△33
為替換算調整勘定	1,214	△1,273
退職給付に係る調整額	△225	△171
持分法適用会社に対する持分相当額	353	△1,518
その他の包括利益合計	5,950	△5,458
四半期包括利益	14,720	7,021
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	11,829	4,827
非支配株主に係る四半期包括利益	2,891	2,193

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(自己株式の取得)

当社は平成30年5月8日開催の取締役会決議に基づき、自己株式360,000株の取得を行っております。この結果、当第3四半期累計期間において、自己株式が921百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が2,314百万円となっております。なお、平成30年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っているため、株式併合後の株式数にて記載しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					計	その他 (注)	合計
	自動車電池			産業電池 電源	車載用 リチウム イオン電池			
	国内	海外	小計					
売上高								
外部顧客への売上高	65,654	137,106	202,760	50,633	31,369	284,764	12,220	296,984
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,034	3,596	4,631	11,268	396	16,296	△16,296	—
計	66,688	140,703	207,391	61,902	31,766	301,061	△4,076	296,984
セグメント利益又は損失 (△)	4,573	6,117	10,690	3,362	743	14,795	542	15,338

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメント及びセグメント利益の調整額であります。報告セグメントに含まれない事業セグメントは、特殊電池事業等を含んでおります。セグメント利益の調整額は△1,729百万円であり、セグメント間取引消去△934百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△794百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. 上表のセグメント利益の合計額と連結損益計算書上の営業利益13,721百万円との差は、のれん等の償却費1,617百万円であります。のれん等には、企業結合日において識別可能資産として受け入れた無形固定資産を含んでおります。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	自動車電池			産業電池 電源	車載用 リチウム イオン電池	計		
	国内	海外	小計					
売上高								
外部顧客への売上高	67,671	141,807	209,478	47,282	33,661	290,423	15,223	305,646
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,065	3,152	4,218	10,509	525	15,253	△15,253	—
計	68,736	144,960	213,697	57,792	34,186	305,676	△30	305,646
セグメント利益又は損失 (△)	5,641	8,115	13,757	2,662	△375	16,044	118	16,162

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメント及びセグメント利益の調整額であります。報告セグメントに含まれない事業セグメントは、特殊電池事業等を含んでおります。セグメント利益の調整額は△1,917百万円であり、セグメント間取引消去△1,144百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△772百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. 上表のセグメント利益の合計額と連結損益計算書上の営業利益14,315百万円との差は、のれん等の償却費1,847百万円であります。のれん等には、企業結合日において識別可能資産として受け入れた無形固定資産を含んでおります。

2 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度より、「市場・顧客を見据えた事業体制への再編」を実行し、国内自動車電池事業と海外鉛蓄電池事業を一つの自動車電池部門に統合しました。これに伴い報告セグメントを「自動車電池国内」、「自動車電池海外」、「産業電池電源」、「車載用リチウムイオン電池」としました。その際、「自動車電池海外」には従来より取り扱う海外産業用電池の取引高の一部を含んでおりましたが、第1四半期連結会計期間より、「産業電池電源」に変更しております。

前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントにより記載しております。

(追加情報)

(持分法適用の範囲の重要な変更)

第2四半期連結会計期間において、リチウムエナジーアンドパワー(株)は清算終了したことにより、持分法適用の範囲から除外しております。

また、持分の売却によりLithium Energy and Power GmbH & CoKGを持分法適用の範囲から除外しております。

(連結子会社の事業年度等に関する事項の変更)

従来、連結子会社のうち決算日が12月31日であった、台湾杰士電池工業股份有限公司他15社は同日現在の財務諸表を利用し、連結決算日との間に生じた重要な取引について必要な調整を行っておりましたが、第1四半期連結会計期間より決算日を3月31日に変更しております。

また、従来、連結子会社のうち決算日が12月31日である、天津杰士電池有限公司他11社は同日現在の財務諸表を利用し、連結決算日との間に生じた重要な取引について必要な調整を行っておりましたが、より適切な経営情報の把握及び四半期連結財務諸表の開示を行うため、第1四半期連結会計期間より連結決算日である3月31日に仮決算を行う方法に変更しております。

これらの変更に伴い、当第3四半期連結累計期間は、平成30年4月1日から平成30年12月31日までの9か月間を連結しております。

なお、当該連結子会社の平成30年1月1日から平成30年3月31日までの損益については、利益剰余金の増減として調整しております。

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

3. 補足情報

(1) 四半期損益の推移

平成31年3月期 (自 平成30年4月1日 至 平成31年3月31日)

(単位: 百万円)

	①第1四半期 (H30/4-6)	②第2四半期 (H30/7-9)	③第3四半期 (H30/10-12)	④第4四半期 (H31/1-3)	⑤第2四半期 (①+②)	⑥第3四半期 (⑤+③)	⑦通期 (⑥+④)
売上高	96,256	99,158	110,230	—	195,415	305,646	—
営業利益	2,917	4,038	7,358	—	6,956	14,315	—
経常利益	3,165	4,327	8,308	—	7,492	15,800	—
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益	1,430	2,023	6,636	—	3,454	10,090	—

平成30年3月期 (自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)

(単位: 百万円)

	①第1四半期 (H29/4-6)	②第2四半期 (H29/7-9)	③第3四半期 (H29/10-12)	④第4四半期 (H30/1-3)	⑤第2四半期 (①+②)	⑥第3四半期 (⑤+③)	⑦通期 (⑥+④)
売上高	87,805	96,402	112,776	113,966	184,208	296,984	410,951
営業利益	2,876	3,109	7,734	8,198	5,986	13,721	21,920
経常利益	3,273	3,174	7,763	7,176	6,447	14,210	21,387
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益	1,254	1,295	3,668	5,231	2,549	6,218	11,449

平成29年3月期 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)

(単位: 百万円)

	①第1四半期 (H28/4-6)	②第2四半期 (H28/7-9)	③第3四半期 (H28/10-12)	④第4四半期 (H29/1-3)	⑤第2四半期 (①+②)	⑥第3四半期 (⑤+③)	⑦通期 (⑥+④)
売上高	75,364	83,535	95,428	105,277	158,899	254,328	359,605
営業利益	2,988	4,184	7,501	8,431	7,173	14,674	23,106
経常利益	2,875	3,774	8,007	7,887	6,650	14,657	22,545
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益	1,840	2,271	4,460	3,656	4,111	8,572	12,229

平成28年3月期 (自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日)

(単位: 百万円)

	①第1四半期 (H27/4-6)	②第2四半期 (H27/7-9)	③第3四半期 (H27/10-12)	④第4四半期 (H28/1-3)	⑤第2四半期 (①+②)	⑥第3四半期 (⑤+③)	⑦通期 (⑥+④)
売上高	81,642	89,507	94,159	100,301	171,149	265,308	365,610
営業利益	3,109	3,705	7,338	7,756	6,814	14,153	21,909
経常利益	3,044	4,004	7,220	7,146	7,049	14,269	21,416
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益	951	2,665	3,010	2,402	3,616	6,627	9,030

平成27年3月期 (自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日)

(単位: 百万円)

	①第1四半期 (H26/4-6)	②第2四半期 (H26/7-9)	③第3四半期 (H26/10-12)	④第4四半期 (H27/1-3)	⑤第2四半期 (①+②)	⑥第3四半期 (⑤+③)	⑦通期 (⑥+④)
売上高	82,321	89,199	94,940	103,298	171,521	266,462	369,760
営業利益	3,109	4,492	5,762	7,548	7,602	13,365	20,914
経常利益	3,763	5,039	6,430	7,124	8,802	15,233	22,357
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益	2,342	2,856	3,331	1,513	5,198	8,530	10,043